

茨城大学1dayキャンパス県央会場 模擬授業一覧

学部	時間	担当教員	模擬授業名	模擬授業概要
人文社会科学部	9:20-10:10	井上拓也	なぜ日本の正式国名はただの「日本国」なのか？ーサミット参加国から考える「国のかたち」ー	アメリカの正式国名は「アメリカ合衆国」で、フランスのそれは「フランス共和国」。世界の多くの国の正式国名には、「〇〇国」が付きまします。でも日本は、〇〇の部分がなく、ただの「日本国」。なぜでしょう？ この授業では、こうした素朴な疑問を手掛かりに、サミット参加国を始めとする主要国の「国のかたち」=政治体制を考えていきます。
教育学部	9:20-10:10	青柳直子	子どもの生体リズムと健康	地球上の生物は、24時間周期で繰り返される光環境の変化を体内のシステムに取り入れています。これを概日（サーカディアン）リズムといい、体内時計によって睡眠、ホルモン、体温等が調整されています。概日リズムが崩れることにより心身が影響を受け、睡眠障害、生活習慣病、精神疾患等を引き起こすことが報告されています。子どもの生活と健康に関する現状と課題について、どのような対応が必要なのかを一緒に考えてみましょう。
理学部	9:20-10:10	大塚富美子	無限の数の個数について	この模擬授業では、『集合論』の濃度のお話をテーマに、無限集合の濃度について考えてみましょう。有限個の集合の濃度とは、その集合の個数のことです。では、無限個の集合の濃度はどう考えるのでしょうか。自然数・整数・有理数・無理数・実数はご存知ですね。それぞれの数の集合は、どれも全て無限個の集合ですが、集合の大きさに違いはあるのかについて、一緒に考えてみましょう。
工学部	9:20-10:10	外岡秀行	宇宙×情報×SDGs 衛星リモートセンシングのはなし	人工衛星から光や電波によって地球を観測する「衛星リモートセンシング」は毎日の天気予報や地球環境評価、災害監視、資源探査、国土開発、農林水産業などに幅広く活用され、SDGs実現を支える技術でもあります。またAI・データ科学などの情報技術とも深い関係があります。本授業では衛星リモートセンシングの基礎について、身の回りの”色”や人工衛星などの話題も交えながらお話しし、その利用例や最新動向を紹介します。
農学部	9:20-10:10	井上栄一	作物生産の科学 ～植物の開花生理と作物栽培の関係	作物生産は、人が植物の力を借りて太陽エネルギーを食糧（炭水化物など）として収穫する営みです。農学では、高品質で安全な作物を持続的に生産し利用するために、植物やその栽培環境について研究することで様々な技術が開発されています。本講義では、植物の開花生理と作物栽培との関係について、最近の研究結果を交えて説明します。
地域未来共創学環	9:20-10:10	田原静	マーケティング・サイエンス 最初の一步 ～消費者の行動を分析してみよう	あなたが好きな製品やサービス、最初はどんなきっかけで知ったのでしょうか？ずっと利用しているのはなぜでしょうか？消費者の行動を分析すると見えてくるものがあります。そして企業はそれを、どのようにマーケティングに活かせるのでしょうか？ 模擬授業では、実際のデータを参加者の皆さんと一緒に見ながら、考えます。